

案件

成果連動型民間委託契約方式（PFS）による介護予防事業の進捗について

健康寿命推進室 健康づくり・介護予防課

1. 政策等の背景・目的及び効果

介護予防事業における「成果連動型民間委託契約方式（PFS）」の活用については、令和3年（2021年）11月及び令和4年（2022年）2月の市民福祉委員協議会において、事業実施に向けた準備の状況や事業イメージ、成果指標等について報告し、また、令和4年（2022年）5月には、選定された事業者及び当該事業者から提案された企画（案）について報告したところです。その後、令和4年（2022年）6月に選定された事業者と業務委託契約を締結し、提案された企画の実施に向けた協議を重ね、順次イベントや教室等を開催してきましたので、これまでの取組や現時点での実績等の進捗について報告するものです。

新たな介護予防事業をスタートするにあたり、「新しい気づきから芽吹く学び」、「湧き上がる好奇心と楽しみ」、「地域に飛び出すしなやかなバネ」という3つの想いを込めた「SPRING（スプリング）HIRAKATA」というプロジェクト名を用いて、さまざまなプログラムを開催し、ひとつひとつの活動をバネにして、楽しみながらステップアップできることを目指します。

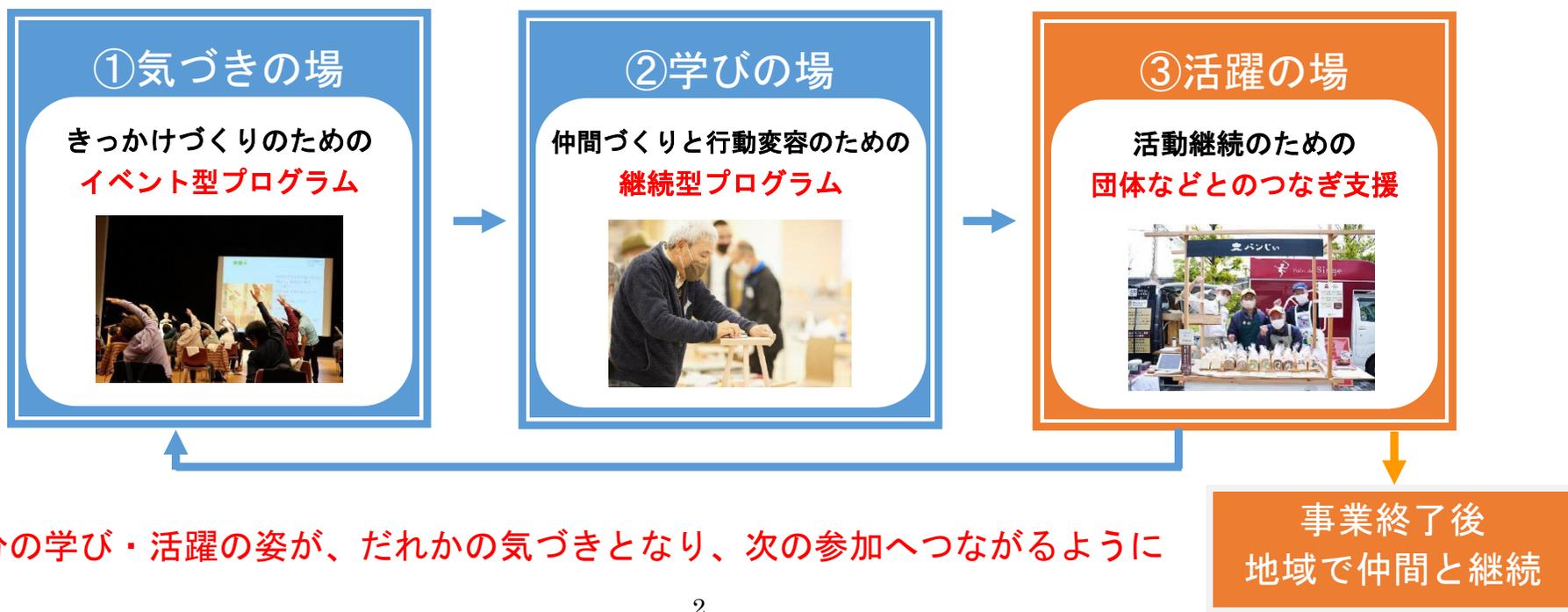


2. 内容

(1) 事業概要

これまで市の「介護予防事業」や「社会参加の取組」に積極的に参加していない層に対し、趣味性の高いプログラムで社会参加のきっかけを提供するとともに、自主グループや支援組織等と連携し、参加者が地域の中で生きがいを持ち、役割を担えるよう育成に寄与する仕組みを構築します。

きっかけづくりのためのイベント型プログラム「①気づきの場」、仲間づくりと行動変容のための継続型プログラム「②学びの場」、そして、活動継続のための団体などとのつなぎ支援「③活躍の場」を提供することで、自分の学び・活躍の姿が、だれかの気づきとなり、次の参加へつながるように、取り組みを推進していくものです。



(2) これまでの取組及び実績

① 気づきの場

様々な趣味性の高いプログラムを通して、新たな自分を見つけるためのイベントを実施。参加者からは「高齢者という感じのイベントじゃないのがいい」や「色々やりたい事を見つけることが出来た」や「自分たちも地域で活躍したい」などといった好意的な声を多数いただいております。新しい趣味や新たな自分を見つけるきっかけとなっています。

■「ひらかたおでかけピクニック プレイイベント」 令和4年(2022年)9月15日(木)

場所：枚方T-SITE

コーヒープログラム / ゆるく楽しむ写真講座

【実参加者数：17人】



■「ひらかたおでかけピクニック」

場所：枚方市総合文化芸術センター

・ステージショー

(チアリーダーズショー/ミニ歌劇体験)

・プログラム体験イベント

(コーヒー倶楽部/木工制作体験

/ 1日写真館/本を楽しむワークショップ)

・健康計測ブース

(脳健康チェック/血管年齢チェックなど)

令和4年(2022年)9月28日(水)



【実参加者数：121人】

② 学びの場

趣味や興味をきっかけにして知識やスキルを得るとともに、人とつながり、地域とつながる方法を得るための継続型プログラムを実施。参加者のうち7割を超える人が、これまで介護予防系のイベントに参加したことがない人でした。また、教室参加後「生活の中で学んだことを他の人に話をしたり、練習したりした」人の割合は、全てのプログラムで6割を超えるなど、教室参加により生活の中での行動変容につながる結果となっています。

■第1期 趣味性の高いテーマ型教室（各全6回） 令和4年(2022年)10月～ ＜SPRINGプログラム＞（各定員15人）

- ・「男・本気のコーヒー教室」
場所：イズミヤ枚方店 フードコート内
【実参加者数：11人】
- ・「違いのわかるこだわりのコーヒー教室」
場所：香里ヶ丘図書館
【実参加者数：15人】
- ・「ゆる写真なかまをつくろう～やさしい写真講座～」
場所：枚方市総合文化芸術センター
【実参加者数：15人】
- ・「本でおしゃべり～読書会やってみる？～&スマホオンライン体験」
場所：枚方市立地域活性化支援センター
【実参加者数：5人】



③ 活躍の場

学んだことを活かして活動を続けるための「実践」と「チャレンジ」を支援するものですが、今年度は、活躍できる場の確保に向けた市民及び関係団体への事業の周知のために参加。ブースに立ち寄った市民は約40人。その他関係団体に声かけを行い、今後に向けた関係づくりに努めました。

■活躍できる場の確保に向けた市民及び関係団体への事業の周知活動

- ・「ひらかた社協ふくしフェスティバル」 令和4年(2022年)11月23日 (水・祝)
場所：ラポールひらかた



④ 周知啓発等

各イベントの周知啓発に関しては、市のホームページや広報ひらかた及びSNSの活用に加え、京阪電車及びJRの駅構内にポスター掲示する等、広く周知に努めました。

また、SPRING（スプリング）ひらかた事務局公式LINEを令和4年(2022年)11月4日から運用開始し、イベント情報等を配信しました。



△ 長尾駅構内

◁ 枚方市駅構内

(3) 成果報酬について

成果報酬につきましては、各成果指標に対して、達成目標を設定しており、下表右端の算定式の通り、成果に連動して支払額が変動していくこととなります。

今年度の成果指標として設定している、「きっかけづくりの場への実参加者数」については、「SPRING（スプリング）ひらかた」における「①気づきの場」及び「②学びの場」の実参加者数の合計となり、令和4年（2022年）12月末現在192人となっています（延べ人数は301人）。

成果指標及び支払い基準

令和4年度(2022年度) 最低支払額 9,500千円（上限額 11,750千円）
 令和5年度(2023年度) 最低支払額 750千円（上限額 15,750千円）

成果指標	支払年度	支払い基準		
		達成目標	成果連動支払額	算定式
「きっかけづくりの場」 実参加者数	R4年度 (2022年度)	500人	上限 2,250千円	2,250千円 × (成果値/500人) 但し、199人以下の場合は支払無し ※延べ人数ではなく実人数で算定
	R5年度 (2023年度)	500人	上限 3,000千円	3,000千円 × (成果値/500人) 但し、99人以下の場合は支払無し
「自主グループ」 新規実参加者数のうち 6か月間継続者数	R5年度 (2023年度)	300人	上限 9,000千円	9,000千円 × (成果値/300人)
高齢者居場所の 登録数	R5年度 (2023年度)	15 グループ	上限 3,000千円	3,000千円 × (成果値/15グループ)

SPRING ひらかた

①気づきの場
きっかけづくりのための
イベント型プログラム

②学びの場
仲間づくりと行動変容のための
継続型プログラム

③活躍の場
活動継続のための
団体などとのつなぎ支援

事業終了後
地域で仲間と継続

3. 今後のスケジュール

令和5年(2023年)3月 「SPRING CARABVAN (スプリング キャラバン) 牧野地区」

令和5年(2023年)4月 令和4年度分成果に応じた報酬等の支払い

「SPRINGフェスタ2023 (仮称)」開催予定

令和5年(2023年)5月～ 第2期「趣味性の高いテーマ型教室」及び「居場所づくり支援 (運営) 型教室」開始予定

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち

施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち

9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち



5. 関係法令・条例等

- ・介護保険法
- ・枚方市附属機関条例

6. 事業費・財源及びコスト

介護保険特別会計

《事業実施に係る経費》

事業実施に係る成果連動報酬を含む上限金額

支出内訳 令和4年度(2022年度) 最低支払額 9,500千円(上限額11,750千円)

令和5年度(2023年度)(債務負担行為)

最低支払額 750千円(上限額15,750千円)

《事業者選定に係る経費》 令和4年度(2022年度) 48千円

支出内訳 介護予防事業に係る成果連動型民間委託契約方式事業者選定審査会

9,500円×5人

《財源》国・府・保険料 87.5% 一般財源 12.5%